

宇都宮製作所

(2015年3月31日現在)

本工場

所在地	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南1-1-11
土地面積	578,894㎡
建物面積	184,898㎡
従業員数	1,730人
主な生産品目	航空機、無人機、宇宙関連機器

本工場、南工場、南第二工場の合計数です



南工場

所在地	〒321-0106 栃木県宇都宮市上横田1418
主な生産品目	航空機



南第二工場

所在地	〒321-0131 栃木県宇都宮市内2-810-4
主な生産品目	航空機



半田工場

所在地	〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-27
土地面積	58,957㎡
建物面積	16,212㎡
従業員数	306人
主な生産品目	航空機



半田西工場

所在地	〒475-0804 愛知県半田市上浜町102
土地面積	86,196㎡
建物面積	11,127㎡
従業員数	47人
主な生産品目	航空機



トップメッセージ



専務執行役員
宇都宮製作所長
永野 尚

宇都宮製作所では、経営ビジョンである「存在感と魅力ある企業」を目指し、「お客様第一」を基軸とし、環境への配慮、社会への貢献、コンプライアンスの徹底などに積極的に取り組み、皆さまから信頼される企業を目指して持続的な社会発展へ貢献するとともに企業価値の向上を図ってまいります。

これらの実現のため、企業市民として、地球温暖化防止をはじめとする環境への取り組み強化を図ることと併せて、住宅地域と近接して工場があることから「地域に愛される企業」をスローガンに掲げ、コンプライアンスの徹底や交通マナーアップ、苦情への真摯な対応などに注力しています。また製造業の強みを活かし、子どもたちに科学や環境活動について理解を深めてもらう取り組みも継続していきます。

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

宇都宮製作所は、地域社会の一員として地域との共生を図り、共に繁栄していくことを目指し、さまざまなコミュニケーション活動を推進しています。特に製造業の強みを活かし、将来を担う子供たちへ、「環境保全の活動」についての理解を深めてもらう取り組みを長年にわたり実施しています。



環境出前教育(宇都宮地区)

宇都宮市内の小学校に、従業員が出向き、地球温暖化の仕組みについての説明や実験を行い、環境問題への理解を深めてもらう活動を行っています。小学校5年生を対象に、2006年度から開始し、2014年度は13校(834人)で実施しました。(累計で135校、9,621人)



環境出前教育(半田地区)

2013年から、半田地区内の小・中学生を対象に環境出前教室を実施しています。「飛行機が飛ぶ仕組み」の講話や、当社の航空機製造の歴史、製品の紹介、航空機材料体験を通して、地域とのつながりの深さや、会社の製品を紹介できる良い機会となっています。尚、2014年度は9校(455人)で実施しました。(累計で12校、665人)



ふれあい祭(宇都宮地区)

10月、工場を開放して「ふれあい祭り」を開催し、約4,500人に参加いただき、地域住民の皆様との交流を深めることができました。この中で、宇都宮製作所のCSR・環境活動をPRするとともに、県緑化推進委員会のご協力のもと、秋葉莢(あきぐみ)の苗木を配付し、緑の環を広げる活動を推進しました。



ふれあい祭(半田地区)

2013年から、半田地区「半田ふれあい祭り」を実施しています。半田工場で製造している777、787の中央翼という当社のモノづくりを通して、当社および航空宇宙カンパニーを理解し認識していただくことを目的としています。従業員の家族をはじめ、半田行政各機関や近隣法人、近隣住民の方々を対象に実施し、2014年は約1,700人に参加いただきました。



JAPAN CUPサイクルロードレース

10月、宇都宮市が主催するアジア最高峰の自転車レース「JAPAN CUP」に、冠スポンサーとして平成2年より継続して協賛し、チームサポートカーとしてレガシイ他を提供しています。二日間の大会で12万1千人の観客が県内外から集まるイベントで、自転車の街宇都宮を広くアピールしています。



盆踊り

8月、納涼盆踊り大会が、地域自治会・婦人会・子供会、協力企業の皆様など約1,000人の参加を得て、盛大に行われました。盆踊りは、1984年から実施しており、地域貢献の大きな行事となっています。

教育・啓蒙活動、交通安全活動、その他

宇都宮製作所では、CSR活動を推進するために、従業員に対して、人事階層別教育を始めとしたさまざまな機会をとらえて交通安全や環境活動促進など、啓蒙活動の取り組みを積極的に実施しています。



交通安全活動 反射材貼り付け

9月、宇都宮南地区安全運転管理者協議会の会長会社として、宇都宮南警察署の協力をいただきながら、「夜間における交通事故防止のための反射材を電柱に貼付する活動」を展開し、地域の交通安全の取り組みに貢献しました。この活動は、2008年以降、春と秋の交通安全運動期間中に、重点地域を決めて実施しているものです。



交通指導

従業員の交通マナー向上活動の一環として、通勤時間帯に製作所周辺の道路で交通安全指導を実施しました。製作所周辺は通学路が多いため、新入生が通い始める4月と、夏休み明けで緊張が緩む9月の2回実施しました。



ISO14001更新審査受審

12月、外部審査機関によるISO14001定期審査を受審しました。審査では、各部署が日頃の活動成果を説明し、認証の継続が認められました。審査員からは、全段階で「本来業務改善することで環境リスクの低減が進んでいる」とのコメントをいただきました。



クリーンキャンペーン

6月、従業員約300名が宇都宮製作所周辺の東武鉄道南宇都宮駅や宮原球場など7コースに分かれ、ごみ拾いや草むしり作業をボランティアとして行いました。この活動は、28年目を迎えますが、今後も地域の美化活動への取り組みとして、継続していきます。



緑の募金

11月、栃木県・愛知県の緑化推進委員会に所内で働く全員で集めた募金を寄付しました。本活動は2000年より始め、今年で15回目を迎えました。2007年度の農林庁長官賞に続き、2011年度には2回目の緑化推進委員会理事長賞をいただきました。(募金累計:524万円)



献血

毎年、宇都宮地区では2回、半田地区では1回献血を実施しています。今年は220人の参加がありました。社会貢献の一環として、献血を通して一人でも多くの方々に役に立つことを願い、これからもより一層の献血活動の推進に努めていきます。

環境保全の取り組み

私たちは、自動車をはじめとする輸送機器メーカーとして、「地球環境問題への対応は経営における重要課題」と認識し、環境保全の取り組みを進めています。

地球温暖化防止への取り組み

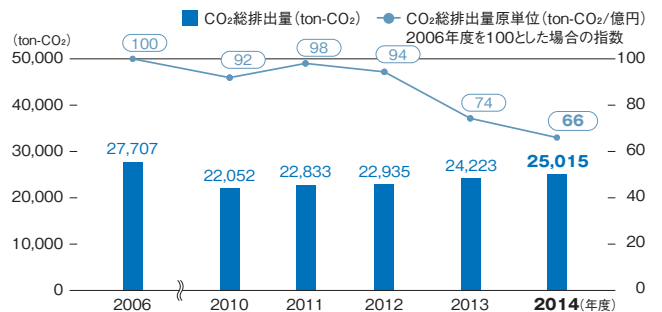
2014年度もCO₂総排出量削減につながるエネルギーの使用量を職場単位で管理し、省エネルギー活動を推進しました。全工場、全職場で省エネパトロールを実施し、ムダなエネルギー使用の削減を行いました。

設備改善では、照明のLED化や省エネタイプのアエアコンへの更新を継続実施しています。

なお、CO₂総排出量原単位は、2006年度実績比で34%の削減を達成しています。

今後も、さらに省エネルギー活動に取り組み、地球温暖化防止に寄与していきます。

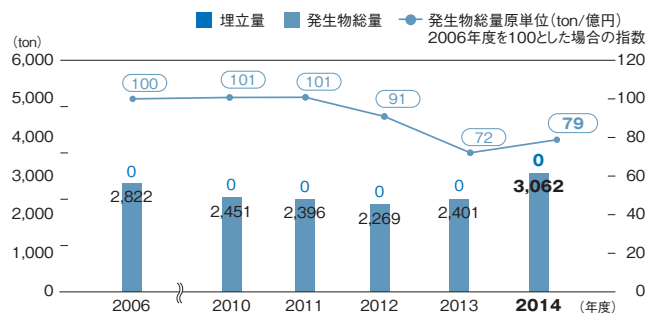
CO₂総排出量推移



ゼロエミッションへの取り組み

2003年に、ゼロエミッションを達成しています。今後も、リサイクルの向上と廃棄物排出量の削減に向け努力していきます。

廃棄物発生総量と埋立処分の推移



公害防止への取り組み

地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。

南工場のヘリコプターの地上運転においては、近隣住宅への騒音の軽減を考慮し、敷地境界から可能な限り遠いエプロンで運転しています。

構外・構内環境事故及び環境苦情とも、上記取り組みの実施により、2010年度以降発生しておりません。

今後も、自主基準値の達成、構外・構内環境事故及び苦情“ゼロ”を目標に取り組んでいきます。

2014年度の環境関連測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁防止法および各地域ごとに適用される宇都宮市下水道条例、半田市環境保全協定に適合しており、20%上乗せした自主基準値*もクリアしています。

* 当社では大気・水質・騒音振動すべての測定結果について、法令基準値に20%上乗せした自主基準値を設定しています。

水質測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁法、下水道法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

■ 本工場：宇都宮市公共下水道

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.8	6.5	7.2
SS	600	480	428	1.0未満	215.0
BOD	600	480	369	0.5未満	185.0
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.0未満	1.0未満	1.0未満
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	10.2	1.0未満	5.6
フッ素化合物	8	6.4	0.8	0.2未満	0.4
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
カドミウム	0.1	0.08	0.021	0.005未満	0.013
総クロム	2	1.6	0.12	0.01未満	0.065
六価クロム	0.1	0.08	0.05	0.02未満	0.035

■ 南工場：宇都宮市公共下水道

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.9	6.4	7.3
SS	600	480	313	6	159.5
BOD	600	480	312	5.2	158.6
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.0未満	1.0未満	1.0未満
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	14.4	1.0未満	7.7
シアン	1	0.8	0.1	0.1未満	0.1未満
カドミウム	0.1	0.08	0.05	0.005未満	0.027
総クロム	2	1.6	0.03	0.01未満	0.02
六価クロム	0.1	0.08	0.02未満	0.02未満	0.02

【記号】… pH：水素イオン濃度、BOD：生物学的酸素要求量
SS：水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質
【単位】… pH除きmg/ℓ

■ 南第二工場：宇都宮市公共下水道

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.9	6.8	7.3
SS	600	480	167	3.2	85.1
BOD	600	480	148	2.9	75.4
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	4.0	1.0未満	2.5
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	7.9	1.0未満	4.5
フッ素化合物	8	6.4	1.7	0.2未満	1.0
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総クロム	2	1.6	1.10	0.01未満	0.55
六価クロム	0.1	0.08	0.02未満	0.02未満	0.02未満

■ 半田工場：水質汚濁防止法、半田市環境協定

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	6~8	6.2~7.8	7.8	6.7	7.2
SS	25	20	20.0	1.0未満	10.5
BOD	25	20	18.0	0.6	9.3
COD	25	20	18.0	1.3	9.7
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	0.5未満	0.5未満	0.5未満
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総クロム	2	1.6	0.04未満	0.04未満	0.04未満
六価クロム	0.5	0.4	0.04未満	0.04未満	0.04未満

■ 半田西工場：水質汚濁防止法、半田市環境協定

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	6~8	6.2~7.8	7.8	7.2	7.5
SS	15	12	5.0	1.0	3.0
BOD	15	12	11.0	2.2	6.6
COD	15	12	9.6	3.2	6.4
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	2	1.6	0.5未満	0.5未満	0.5未満
シアン	0.5	0.4	0.1未満	0.1未満	0.1未満
カドミウム	0.05	0.04	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総クロム	0.2	0.16	0.04未満	0.04未満	0.04未満
六価クロム	0.3	0.24	0.04未満	0.04未満	0.04未満

大気測定結果

測定結果は、すべて大気汚染防止法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

■ 本工場・南工場・南第二工場：大気汚染防止法

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
コージェネ	NOx	600	480	382	312
乾燥炉	NOx	230	184	100未満	100未満
	ばいじん	0.2	0.16	0.001未満	0.001未満

【単位】NOx：ppm、ばいじん：g/m³N
法規特定施設9機中、コージェネと乾燥炉のデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

■ 半田工場：大気汚染防止法、半田市環境協定

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
2トンボイラー	SOx	1.5	1.2	0.002未満	0.002未満
	NOx	180	144	25	23
	ばいじん	0.1	0.08	0.002未満	0.002未満

【単位】NOx：ppm、SOx：m³N/h、ばいじん：g/m³N
法規特定施設5機中、ボイラーデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

■ 半田西工場：大気汚染防止法、半田市環境協定

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
2トンボイラー	SOx	1.5	1.2	0.002未満	0.002未満
	NOx	180	144	25	22
	ばいじん	0.1	0.08	0.002未満	0.002未満

【単位】NOx：ppm、SOx：m³N/h、ばいじん：g/m³N
法規特定施設6機中、ボイラーデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

騒音・振動測定結果

測定結果は、すべて騒音・振動規制法に適合しており、自主基準値もクリアしています。

■ 騒音関係：騒音規制法

【単位：dB(A)】

測定場所	規制値(夜間)	自主基準値	測定数	測定値
本工場	60	58	8	56
南工場	50	48	3	32
南第二工場	50	48	3	44
半田工場	65	63	3	61
半田西工場	65	63	6	60

■ 振動関係：振動規制法

【単位：dB(Z)】

測定場所	規制値(夜間)	自主基準値	測定数	測定値
本工場	65	63	8	33
南工場	60	58	2	30未満
南第二工場	60	58	3	30未満
半田工場	70	68	3	30未満
半田西工場	70	68	5	30未満

【測定結果】<:定量下限値未満を示す

PRTR対象化学物質の取扱量、排出量など

■ 宇都宮製作所[航空宇宙カンパニー] (本工場、南工場、南第二工場、半田工場、半田西工場)

【単位：kg/年、ダイオキシン類のみ、mg-TEQ/年】

化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量(公共用水)	移動量(下水道)	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
ビスフェノールA	2,422				969	1,453		
キシレン	7,022	4,444			1,496	1,082		
六価クロム化合物	2,122				1,495	195	432	
トルエン	35,309	27,548			7,737	24		
マンガン及びその化合物	1,018				407	611		
1,3-ジオキソラン	8,120	6,334			1,786			

半田市との環境保全協定を調印

半田市とは、従来公害防止面を中心とする公害防止協定を締結していましたが、2011年2月22日、市要請に基づき、省エネ、廃棄物等の環境面の活動まで拡大した環境保全協定を締結しました。

沿革

1944年 1月	中島飛行機(株)宇都宮製作所開設 陸軍機体生産開始
1945年 8月	富士産業(株)と改称
1950年 7月	宇都宮車輛(株)設立
1953年 7月	富士重工業(株)設立
1958年 1月	T-1中等練習機、初飛行に成功
1962年 3月	ロードバッカー(塵芥収集車フジマイティ)の生産開始
1963年 8月	UH-1Bタービンヘリコプターを防衛庁に納入
1965年 8月	国産軽飛行機FA-200(エアロスバル)初飛行
1978年 3月	T-3初等練習機を防衛庁に納入
1984年12月	対戦車ヘリコプター AH-1Sを防衛庁に納入
1988年 8月	T-5初等練習機を防衛庁に納入
1992年12月	ボーイング777中央翼組立工場(半田工場)稼働開始
1993年 9月	UH-1Jヘリコプターを防衛庁に納入
1999年 7月	宇都宮製作所としてISO14001認証を取得

2000年11月	フジマイティ LP0型発売
2002年 6月	カンパニー制度導入 航空宇宙カンパニーとエコテクノロジーカンパニー設立
2002年 9月	T-7新初等練習機を防衛庁に納入
2003年	宇都宮製作所ゼロエミッション達成
2005年 9月	次期輸送機・固定翼哨戒機の主翼を納入
2005年12月	茨城県神栖市に大型風力発電試作機建設
2006年 3月	AH-64Dヘリコプターを防衛庁に納入
2007年 1月	ボーイング787の中央翼を初出荷
2010年 3月	富士重工業(株)としてISO14001統合認証を取得
2010年 4月	フジマイティ エレクトラ発売
2012年 7月	風力発電システム事業を(株)日立製作所に事業譲渡
2013年 1月	環境車輛事業を(株)新明和工業に事業譲渡
2013年 3月	エコテクノロジーカンパニーを廃止
2014年 6月	次世代大型旅客機「777X」の開発・量産参画へ覚書

主な製品紹介



©The Boeing Company

ボーイング 777



©The Boeing Company

ボーイング 787